

全自動多項目遺伝子検査システム FilmArray 呼吸器パネル 2.1 の当院の使用状況

©河村 佳江¹⁾、中嶋 蒼水¹⁾、岡本 明日華¹⁾、村 竜輝¹⁾、麻生 都¹⁾、金谷 和美¹⁾、吉野 直美¹⁾、飯沼 由嗣²⁾
金沢医科大学病院中央臨床検査部¹⁾、金沢医科大学臨床感染症学²⁾

【はじめに】2020年に保険適用された FilmArray 呼吸器パネル 2.1 (以下 FA2.1) は呼吸器感染症の原因となるウイルス (SARS-CoV-2 を含む)、細菌等 21 種類を約 45 分で検出できる多項目同時核酸検出検査である。これ以前に保険適応された呼吸器パネル 2.0 と比べて、診療報酬算定条件が緩和され、多くの施設で使用されている。今回、過去 3 年間の当院の FA2.1 使用状況について報告する。

【対象と方法】2020年11月から2023年10月に、当院で FA2.1 を実施した 159 件を対象とし、依頼科、患者性別・年齢、検出病原体を集計した。

【結果】検査依頼の内訳は外来 111 件、入院 48 件で、依頼科別では呼吸器内科 107 件と小児科 28 件で全体の 85% を占めていた。患者性別は男性 101 件、女性 58 件と男性が多く、年齢別では 10 才未満 24 件、10 代 7 件、20~59 才 29 件、60 才以上が 99 件だった。当院で同一期間に感染症診断目的で実施した SARS-CoV-2 を含む核酸検出検査は 9247 件で、FA2.1 の使用は 1.7% であった。FA2.1 陽性検体は単独検出が 29 件、複数検出が 14 件で、年齢別陽性率は

10 才未満 92%、10 代 43%、20~59 才 14%、60 才以上 14% と年齢が低い方が高く、10 歳未満の陽性検体の 60% が複数検出だった。検出病原体の内訳は、単独検出がライノ/エンテロウイルス 8 件、SARS-CoV-2 が 7 件、ヒトメタニューモウイルス 6 件、他 8 件で、複数検出は、パラインフルエンザウイルスとライノ/エンテロウイルス 6 件、RS ウイルスとライノ/エンテロウイルス 4 件、他 4 件だった。複数検出も含めて、ライノ/エンテロウイルス、パラインフルエンザウイルス、RS ウイルスは 10 歳未満から多く検出された。

【考察】当院では FA2.1 を呼吸器内科、感染症科限定で運用を開始したため、使用は限定的で多項目同時核酸検出が必要な場合に適正に使用されていると考えられる。ウイルス感染が多い小児呼吸器感染症では、高確率で病原体が検出され、簡易抗原キットに含まれないウイルスも検出可能であり、有用な検査法だと思われる。一方、検出病原体が原因微生物かどうかの判断も必要であり、専門医の関与が適切な使用に繋がると考える。連絡先 076-286-3511